

合板類（普通合板・化粧合板・練付合板・打上げ天井等）	
<p>1 化粧合板（底目地張り）</p>	<p>3 練付合板</p>
<p>2 化粧合板（棹縁）</p>	<p>4 打上げ天井</p> <p>目地底テープ 又は単板張り</p>

- 内装制限のある場合はそれぞれの認定品の仕様とする。
- 化粧合板には、天然木化粧合板、プリント合板、オーバーレイ加工合板等の種類がある。
- 釘の打ち方は、相じゃくりの場合は釘頭あらわしとし、本実はぎの時は隠し釘打ちを原則とする。化粧頭の釘を打つ場合は、釘の材種、形状を検討する。湿気のある室に使用する場合、板裏に防水紙（アスファルトフェルト 20kg以上）を使用する。

断 熱		
接 地 床	壁（外 壁）	床
<p>1 フォーム[®]リスチン敷込み</p>	<p>1 フォーム[®]リスチン打込</p>	<p>1 フォーム[®]リスチン打込</p>
	<p>2 現場発砲硬質ウレタンフォーム吹付</p>	<p>2 断熱材吹付(デッキプレートの場合)</p>
	<p>3 フォーム[®]リスチンボード後張り工法</p>	<p>4 断熱材吹付及び張り付(折版の場合)</p>

- 断熱材を後張りとする場合は、下地調整又はモルタルこて押えを施し、ボード周辺及び縦、横間隔450mm内外に帯状に接着剤を塗布する。（内部結露防止のため）
- 主として耐火を目的とした断熱材であり、透湿抵抗が低い場合結露防止効果は少ない。ウレタン露出の場合は防災コートを吹付ける。